

新潟都心地域整備方針(素案)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
新潟都心地域	<p>[都市再生緊急整備地域]</p> <p>江戸時代より北前船の寄港地として繁栄し、幕末には開港五港に選ばれ世界に開かれた新潟市の原点である新潟都心地域において、古町地区、万代地区、新潟駅周辺地区を結ぶ都心軸と、信濃川やすらぎ堤から万代島地区にかけての交流軸を連動させることで都市全体を牽引する活力を創出</p> <p>日本海側の拠点都市という立地とインフラを活かし、産業振興に取り組み、多様で魅力ある雇用の場を確保</p> <p>災害が頻発化・激甚化する昨今において、都心軸沿線の都市機能の向上と安全性の強化を推進することで、太平洋側の災害時に代替機能を発揮する日本海国土軸を形成</p> <p>都心軸と、都心軸に平行する2本の副軸を中心に、緑と賑わいがあふれるウォークアブルな空間を形成すると共に、新潟市のシンボルである萬代橋周辺において、信濃川やすらぎ堤や万代テラス（信濃川右岸緑地）など、既存資源を活かした魅力的な水辺空間を形成</p> <p>脱炭素社会の創造に向け、SDGsの視点から、スマートエネルギーシティの推進により、次世代型の環境都市を構築</p> <p>(新潟駅周辺地区) 広域交通結節点の機能を強化し、新潟市の玄関口に相応しい機能と風格を備えた都市空間を形成</p> <p>(万代地区) 萬代橋周辺の水辺空間を活かすと共に、商業集積と回遊性の向上による賑わいを創出</p> <p>(万代島地区) 都心のウォーターフロントの立地と国際交流拠点機能を活かし、みなとらしさを感じられる賑わい空間を形成</p> <p>(古町地区) 様々な機能の都心回帰を進めると共に、みなとまちの歴史と文化を活用し、魅力的な街並みを形成</p>	<p>(4地区全体)</p> <p>○老朽化した建築物の更新に合わせ、津波避難ビルや一時避難施設、災害備蓄倉庫等を整備し、ハザードマップに対応した防災機能を強化</p> <p>○細分化された敷地の大規模化・高度化を図るとともに、緑地などのオープンスペースを創出し、歩いて楽しく潤いあふれる都市空間の形成を推進</p> <p>○企業の本社機能やサテライト拠点の誘致に向け、5Gなど次世代通信環境を整備すると共に、新たなビジネスやベンチャー創出に向け、スタートアップ拠点を合わせて整備</p> <p>(新潟駅周辺地区)</p> <p>○広域交通結節点の利点を生かした高次の業務機能を誘導すると共に、商業、宿泊など多様な都市機能との複合化・高度化を推進</p> <p>(万代地区)(万代島地区)</p> <p>○商業、文化、観光・交流、エンターテインメント機能の充実、水辺空間との連携、MICE誘致の促進により、体験型・時間消費型の都市空間を整備</p> <p>(古町地区)</p> <p>○古町地区の中心として、都心軸のバス交通から小型モビリティやレンタサイクル、徒歩へ円滑に人の流れを誘導するなど、日常生活や観光需要を踏まえたハブ的な公共交通機能を強化</p> <p>○業務、商業、文化、観光・交流、教育、居住など、多様な都市機能の再集積を図り、賑わいあふれる市街地の形成を推進</p>	<p>(4地区全体)</p> <p>○都市の緑化と道路断面の再構成を進め、人と車の動線を整理し、多様な利活用を促進することで、行きたくなる、居たくなる人中心のストリートを整備</p> <p>○回遊性の向上と賑わい創出に向け、都心の各地区内外を結ぶ歩行者動線の整備および公共空間の利活用を推進</p> <p>○立体歩道等の整備により、周辺街区から信濃川やすらぎ堤など水辺空間へのアクセス機能を向上させ、市街地と水辺の連携による活性化を推進</p> <p>○温暖化等の影響により頻発する豪雨水害に対し、浸水対策となる雨水管、ポンプ場等の整備を推進</p> <p>○都心軸における公共交通の利便性向上に向けた、事業者との連携によるバス交通の強化</p> <p>(新潟駅周辺地区)</p> <p>○鉄道在来線の高架化や、立体交差道路、万代広場、駅直下バスターミナル(高架下交通広場)の整備促進により、南北市街地の一体化と拠点機能の強化を推進</p> <p>○新潟駅南口周辺において、中・長距離バスターミナルを整備し、広域交通結節点の機能を強化するとともに、災害時の一時避難施設や、業務、商業等の複合施設との一体整備により高次の賑わいを創出</p>	<p>(4地区全体)</p> <p>○都心軸や副軸、交流軸を中心に、みなとまち文化など、各地区の個性に応じた景観の誘導により、風格や賑わいのある都市景観の形成を推進</p> <p>○Society5.0の早期実現に向け、ロボット、AI、IoT、ビッグデータなど先端技術を活用した新たな事業を推進し、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を促進する。</p> <p>○国内外からの来訪者の多様な活動や交流を支えるスマートシティを推進し、都心部の移動の円滑化に向け、市民や関係者と協働でMaaSの導入を促進するとともに、安全性の向上を図る公共交通の自動運転化など、次世代技術の活用を検討</p> <p>○大規模災害や感染症の蔓延に備えた企業のBCPの観点から選ばれる、安全・安心で新たな生活様式に対応した都市環境を形成</p> <p>○新潟市の強みである食と農業、バイオテクノロジーの分野において、AI、IoT、ドローンなど先端技術を導入したスマート農業を推進するため、イノベーションの促進、高度人材の育成、農商工連携および産官学連携によるベンチャー創出を図る拠点を形成</p> <p>○ESG投資を促し、再生可能エネルギーの活用促進により、環境に配慮した市街地を形成</p> <p>○民間活力の導入によるエリアマネジメントを推進し、魅力や賑わいの創出と地域価値の向上、情報発信を強化</p> <p>(新潟駅周辺地区)(万代地区)</p> <p>○鉄道駅やバスターミナルなど広域交通結節点周辺の立地を活かし、新潟駅南口周辺地区や万代地区の低未利用地の有効活用を推進</p>